

藩政時代の風情に浸る



角館

歩くまち

角館は1620年、この地を統治していた芦名義勝によって新しく造られた城下町です。町の中心に「火除け」を設け、ここを境に武士の住む「内町」と町人の住む「外町」に町割りしました。以来およそ四百年、町の繁栄と歴史を伝える外町の蔵や商家、史跡を訪ねてみませんか。

まち歩きしてみませんか



見どころポイント

- 角館の伝統工芸品「樺細工」
- 老舗の煉瓦蔵のお座敷
- もう一つの武家屋敷通り
- 城下町をつくった芦名家
- 解体新書と小田野直武
- 新潮社を創業した佐藤義亮
- 蔵と石造りの店舗
- 戊辰戦争と角館
- 大村藩浜田謹吾少年のこと



杉田玄白の「解体新書」の挿絵を描いたのが角館の武士小田野直武でした。氏を称えた碑が松庵寺境内に建てられている

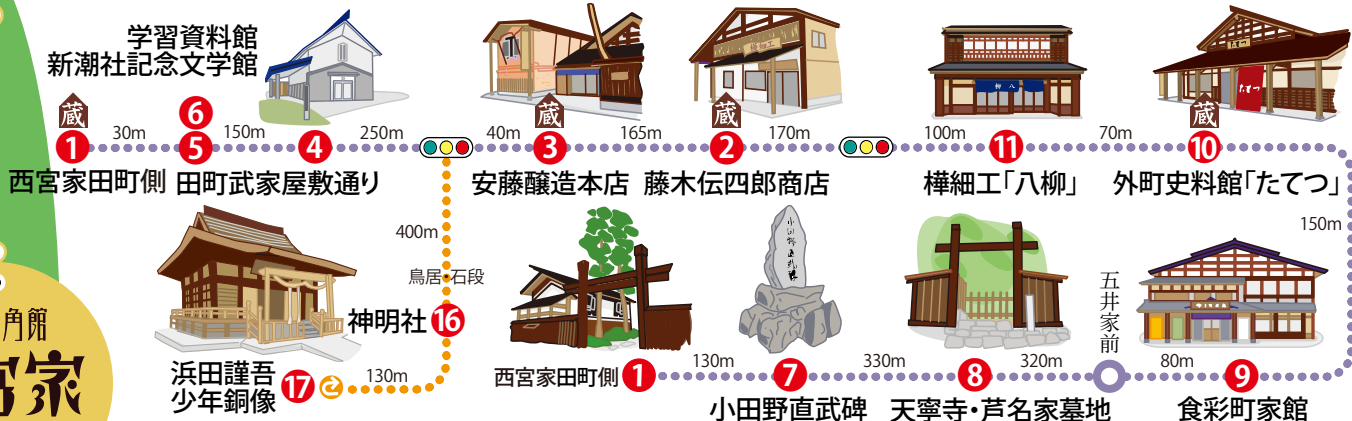
問合せ先：仙北市観光情報センター「角館駅前蔵」

〒014-0369 秋田県仙北市角館町上菅沢394-2

TEL: 0187(54)2700 FAX: 0187(54)1755 一般社団法人田沢湖・角館観光協会

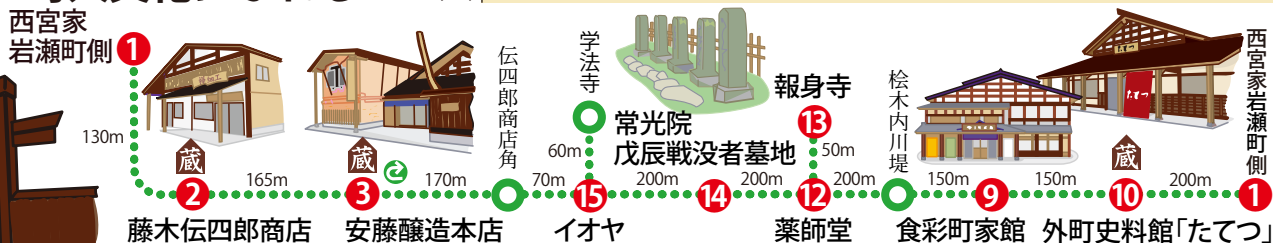
角館外町ぐるり「まち歩き」コース

文人や伝統工芸、食、祭事など角館の文化にふれる「距離約2.5km」



町人文化にふれるコース

角館の老舗の味や技、そして幕末の歴史に心を打たれる「距離約1.7km」



3 安藤醸造本店



明治時代中期に建てられた煉瓦蔵は市指定の文化財で、内部を「蔵座敷」として一般公開。ひな人形や五月人形を季節展示している。

4 田町武家屋敷通り



角館のもう一つの武家屋敷通りで、秋田藩主佐竹公の直臣の家臣団が住んでいた場所。黒板塀や大木が続き、桜＆新緑スポット。

5 新潮社記念文学館



新潮社創設者の佐藤義亮は角館の出身で、国内大手出版社となる礎を築いた。館内では義亮と関わった文人と作品等を紹介している。

8 天寧寺



藩主佐竹公とともに秋田領入りし、角館城主となった芦名義勝が開基した芦名家菩提寺(墓地公開)。山門は市指定の文化財。

10 外町史料館「たてつ」



「角館桜皮細工センター」の店奥の蔵を公開。たてつ家は江戸時代から続く商家で、往時の町人生活文化の史料を周年展示している。